

議会だより

おかげさまで



乳幼児医療費、就学前まで無料化へ

6月議会の概要版

一目でわかる

賛成・反対表

①岡垣町母子家庭等医療費の条例の改正

②岡垣町重度心身障害者医療費の条例の改正

反対討論VS賛成討論

①議長あいさつ②総務③経済④文教

議会の住民懇談会

7名の議員が登壇

一般質問・住民の声

編集後記など

2

3

4

6

10

14



子ども未来館

みなさん双子!! ママ子育て大奮闘

定例会

6月

概要

本年度一般会計補正予算(第1号)及び

三医療制度(乳幼児・母子家庭等・重度心身障害者)改正を集中審議!

乳幼児医療費、就学前まで無料化へ!

(但し所得制限あり)

第2回定例会は6月6日から6月19日までの14日間の日程で開催され、本年度一般会計補正予算を含む11議案の審議を行いました。

主なものは

- ① 岡垣町税条例の一部を改正する条例
- ② 岡垣町乳幼児医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例
- ③ 岡垣町母子家庭等医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例 (P4を参照)
- ④ 岡垣町重度心身障害者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例 (P5を参照)
- ⑤ 平成20年度岡垣町一般会計補正予算(第1号)

○ふるさと納税が平成21年度よりスタート

(本年度より寄付はできます)

○岡垣町観光アピール事業費

101万円

(11月28日~30日・福岡アクロスにて)

○障害者福祉：児童デイサービス共同事業委託料

2100万円

(遠賀郡4町分を合算)

○電算システム関連処理委託料

808万円

(医療制度の改正にともなう編集作業のため)

○個人住民税を公的年金からの特別徴収制度の創設

(一部対象から除外あり。平成21年10月分より)

○議会推薦の農業委員の選出

山田隆一さん・市津広海さん



岡垣町母子家庭等医療費の支給に 関する条例の一部を改正する条例

制度改正前後比較表

	対 象 者		自 己 負 担	
	現 行	改 正 後	現 行	改 正 後
母子家庭等医療 ↓ ひとり親家庭等医療	<ul style="list-style-type: none"> 母子家庭 養育者家庭 ※74歳まで 一人暮らしの寡婦 	<ul style="list-style-type: none"> 母子家庭 父子家庭 養育者家庭 ※75歳以上も対象にする。 一人暮らしの寡婦は廃止 ※22年9月まで経過措置有り 	初診料・往診料の自己負担分 (平日時間内 820円) (平日時間外 1,070円) (休日 1,570円) (深夜 2,260円)	<ul style="list-style-type: none"> 【ひとり親・養育者】 ・通院：800円/月 ・入院：500円/日 (月上限7日) 【一人暮らしの寡婦】 H20. 10. 1~H21. 9. 30 ・通院：1,000円/月 ・入院：12,000円/月 H21. 10. 1~H22. 9. 30 ・通院：2,000円/月 ・入院：24,000円/月 H22. 10. 1~経過措置終了 (廃止)

反対

父子家庭を助成の対象に加えたことについては評価します。しかし、

母子家庭は入院時の自己負担が増加すること、寡婦の方が段階的に縮小廃止されることは大きな問題です。

母子家庭の平均所得は全世帯平均の4割で、そのうちの8割の方が生活が苦しい状況です。

寡婦の方は昭和の激動の時代を夫と死別離別し、経済的社会的困難の中で子育てを終え、今や高齢化も進んでいきます。この制度による負担増は1人当たり年間平均12万4千円です。彼女たちの

51%が年収180万円未満で岡垣町の対象者は160人。今回188万円の減額予算となっています。

福岡県という廃止理由は他の県と比較して突出していると言いますが、税金は社会的弱者のためにこそ使われるべきで、良いことは突出していても何ら問題なくむしろ誇るべきことです。

町は一人一人の生活状況を適確に把握し、孤独死等の大きな社会問題にならないよう窓口相談等を強化し、支援の充実をすべきです。また母子家庭の就業支援にもさらに税金を投入していくべきです。

賛成

今回の改正は、一人親家庭として、父子家庭も対象となり、さらに

養育者家庭の年齢枠も拡大。自己負担は、定額制に移行され、受診しやすい環境も整うなど制度の充実が図られています。しかも、今回の改正は、福岡県の条例の改正に伴うものであり、少子高齢社会を見据え、ますます増加する医療費の中、世界でも類をみない医療保険制度を維持し、町民の皆様が安心して医療が受けられる環境を整備するものがあります。寡婦の方に対する助成は、すでに42の都道府県で廃止されています。

この議案の論点は、寡婦医療の部分です。他の自治体の制度を見ると、対象者の除外規定では、①生活保護法、その他の法により全額医療費を受けていない方②市町村民税が課税されていない方です。つまり、反対討論者が言う「高齢の寡婦の方の平均年収が200数十万」ということであれば、法益として、福岡県が子育て世代に、税財源を集中させることに社会的な合理性があります。低所得の高齢者は通院で8千円、入院で1万5千円の自己負担で済みます。又、低所得に陥る離婚時の年金の配分を、女性に不利にならないように、制度改革の中で配慮がなされています。

発言者要旨：山田、横山、竹内

発言者要旨：西田、久保田、平山

岡垣町重度心身障害者医療費の支給 に関する条例の一部を改正する条例



制度改正前後比較表

	対象者		自己負担	
	現行	改正後	現行	改正後
重度心身障害者医療 ↓ 重度障害者医療	・身体障害者 (身障手帳1、2級) ・知的障害者 (IQ35以下) ・重複障害者 (身障手帳3級 かつIQ50以下)	・身体障害者 ・知的障害者 ・重複障害者 ・精神障害者 (精神保健福祉手帳1級) ※精神病床への入院を除く	【65歳未満】 初診料・往診料の自己負担分 (平日時間内 820円) (平日時間外 1,070円) (休日 1,570円) (深夜 2,260円) 【65歳以上】無料	●通院：500円/月 ●入院： 一般 500円/日 低所得 300円/日 (月上限20日) 上記金額負担

賛成

この重度心身障害者医療費については、特に高齢者の占める割合が高く、この傾向は今後も続いてゆくものと思われまます。

このため高齢化の影響をもろに受け、県負担額の増加の伸びが著しく、この制度の維持が危ぶまれます。

こうした中、ますます増え続ける医療費を支え、重度障害者の方が将来にわたって安心して医療が受けられる環境をつくるための見直しでもあります。

今回の制度改正で新たに精神障害者の1級の方も対象になったことを評価した

この重度心身障害者医療費については、特に高齢者の占める割合が高く、この傾向は今後も続いてゆくものと思われまます。

このため高齢化の影響をもろに受け、県負担額の増加の伸びが著しく、この制度の維持が危ぶまれます。

こうした中、ますます増え続ける医療費を支え、重度障害者の方が将来にわたって安心して医療が受けられる環境をつくるための見直しでもあります。

今回の制度改正で新たに精神障害者の1級の方も対象になったことを評価した

岡垣町が進める行財政改革の中にある「受益と負担の原則」の考えに合致するもので、必要と考えます。この定額負担の導入にあたっては、低所得者に配慮された2段階の負担金を設定する点は評価されます。

一方、障害者を取りまく環境は依然厳しく、保護者の高齢化がさらに進む課題もあります。

今後も少子高齢社会の中で永続的に皆さんが安心して医療が受けられるような制度を構築することが大切です。

発言者要旨：山田、大堂

反対

この制度の対象に精神障害者を加えたことは評価できます。しかし、所得制限が設けられ、自己負担と65歳以上の無料制度撤廃はノーマライゼーションに反するものです。

通院入院にも自己負担を設定し、入院の場合、今まで初診料だけだったのが上限1万円まで負担増になります。65歳以上の方はこれまでの無料から通院入院とも自己負担を設けました。しかも65歳から74歳までの方について後期高齢者医療制度に入らなければ1割負担を3割にするなど半強制的加入を求めます。

この制度の内容によっては医療の制限を受けることもあるのです。重度心身障害者の低所得層など大変困難な状況に置かれ、これ以上自己負担を増加するなど許されないことで、障害者高齢者いじめです。岡垣町の障害者施策に対する町長の政治姿勢が厳しく問われる内容になっていきます。今後この制度の見直しについて再度論議され、検討されることを求めます。町独自の救済策を是非提案してほしいものです。

県は財政負担を減らすために改正しましたが、とりわけ福祉の分野は財政論で片づけるべきでないことを強調しておきます。

発言者要旨：久保田、平山

開かれた議会を目指して

議長 太田 強



議会運営について

平成20年7月9日

香川県多度津町議会より視察



国の三位一体の改革や地方分権改革の推進に伴い、岡垣町も行政構造改革を進めてきました。同様に町議会も「議会改革と活性化」を木原元議長、山田前議長の時代から積極的に進めてきました。内容は「分権時代にふさわしい議会運営のあり方」で、これについて議員全員協議会で26項目の課題をまとめ、調査・研究を進めてまいりました。その最たるものの一つが「昨年の「議員数18名から16名への定数削減」でもありました。

私も議長に就任し、引き続き「議会改革と活性化」を目指

議会運営状況、住民懇談会について



平成20年6月2日

宮崎県三股町議会より視察

し、開かれた議会づくりを念頭に、全議員の意見を聞いて今回の「岡垣町議会住民懇談会」の開催に至りました。開催に当たっては、執行権を持たない議会が住民の皆様のご意見や要望に対し、果たして満足のいく回答ができるのか等、不安もあ

りましたが、まずは議員一人ひとりの顔が見える議会を目指すべきと考え開催を決定しました。

今後は、第一回の反省事項をまとめ、次に活かしてより充実した「岡垣町議会住民懇談会」を目指したいと考えます。

実現!! 議会住民懇談会

総務常任委員会 委員長 木原 信次



質問に答える木原委員長

総務常任委員会は、本年4月25日に東部公民館で、平成20年度一般会計予算について、報告会を開催しました。

各委員の報告は以下によります。

- 1 三角善彦副委員長は、総合計画後期基本計画に掲げた5つの将来像の実現を図るため、74億9100万円の予算がどう配置されたかについて。
- 2 平山弘委員は、地方交付税の推移、町債（借金）の状況、繰入金（基金を取り崩し予算に充当）等財政の現状について。
- 3 曾宮良壽委員は、地域コミュニティの役割、国が支援する地域再生計画に基づく経済の活性化策について
- 4 市津広海委員は、町内の

国道、県道、町道の建設、改良について、道路特定財源の役割についてでありました。

報告後、出席者より質問があり、その要旨と答は次のとおりです。

㊦ 山間地は整備が遅れ救急車の到着も遅くなる。

㊧ 行政サービスは等しくあるべきだ。地域再生計画の中で考慮すべきである。

㊨ 岡垣町は職員の削減が少ない。

㊩ 4町合併協議時と状況が違う。総務省の指針に添って削減している。



するどい意見がとびかう（参加者86名）

㊪ 多くの遺跡が発掘されている。展示すべきだ。

㊫ 町民に見てもらい歴史を知って欲しい。

㊬ 山田峠の医師会病院にコミュニティバスが停まらない。

㊭ 本年路線の検討会がなされる。町民の声を把握し、反映していきたい。

まとめとして、委員の声を直接聞いて良かったとの好感の声を多くもらったが、案内がなかったとの苦言もあり、広報の工夫が必要であると感じました。



目的に向かって反省と更なる創意と継続が重要！

経済建設常任委員会 委員長 大堂 圀 治

実施日 五月十五日
場 所 西部公民館
参加者 五十一名

初めての懇談会を成功させるために、委員会では事前協議会を開いて協議しました。

その内容は、

- ① 当日の進め方
 - ② 役割分担
 - ③ 参加要請法
 - ④ 会場設営
- などについて、慎重に協議しました。

期待と不安で臨みましたが、51名の参加があり、先ずは一安心しました。

報告内容と役割を下記のとおりと致しました。

- 一、進行と総括 大堂委員長
- 一、20年度予算概要と新規事業について 矢島副委員長



住民からの活発な意見がでる

一、中心市街地の取り組み

石井委員

一、特産品の育成と取り組み

宮内委員

一、コミュニティバスの運行の課題と今後の取り組み

竹内委員

参加者の主な意見はシビア

であり、西部地区民の要望であるコミュニティバス運行を求める声が強くなりました。報告が多く、長時間になったことや資料不足などの厳しい批判の声

もありました。

三里松原海岸の砂の浸食など地域特性の問題提起もあり、活発な意見が出ました。

答弁については各委員が行い、担当外や大きな課題については、後日に答えることにしました。

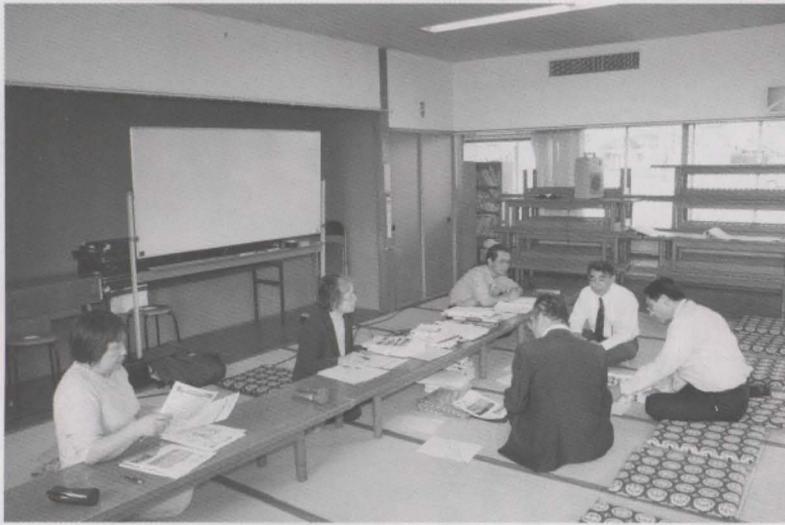
開かれた議会づくりを目指した、初回の多くの反省点と長所を活かして、今後も継続していくことが重要であり、意義深い懇談会であったと思います。



開会前の緊張のとき

活発な意見を傾聴、必要性を実感!!

文教厚生常任委員会 委員長 下川路 勲



事前の打ち合わせに力が入る

住民の方々に、もっと議会の活動や審議内容とその経過を知っていただきたいという願いから、文教厚生常任委員会は5月16日に中央公民館で住民説明会を開催いたしました。参加者は多いとはいえませんが、見をいただきました。

質問の主なものは次のとおりです。

- ① 議決後の開催ではなく、我々の意見や要望をよく聞いて反映させてもらうために、議会が始まる前にこのよな会を開いて欲しい。
- ② このままでは町の基金は無くなるのでは、将来に向けての財源確保・収入増の見通しはあるのか。
- ③ 法人税の全額や比率を知りたい。
- ④ 山田小学校の児童が増えているが、旭台に学校は建つのか、また校区再編成の必要があるのでは。
- ⑤ 後期高齢者医療制度について、少ない年金の中からの天引きはひどい。
- ⑥ 駅前防犯カメラ設置の抑止効果や担当課を知りたい。
- ⑦ 駅前ぎやらりのところは雨天の場合、屋根が無いので困る。
- ⑧ 準快速の便を増やして欲しい。
- ⑨ 下水道会計が赤字決算であり、今後どうなるのか。
- ⑩ 中西部にもコミュニティバスを走らせてほしい。

等々、身近な問題が多く出され、町行政の関心の高さがうかがわれました。

「継続は力なり」といいます。今後もこのような会を続けることの必要性を実感しました。ただ参加者の数をもっと増やすための広報活動に工夫がいろいろありました。



事務局といっしょに会場づくり

町政を問う

一般質問



竹内

小・中学校の耐震化を急げ!!

町長

詳細調査を計画的に実施する



竹内 和男 議員

竹内

小中学校の耐震化が遅れている。今後早急に、耐震診断・耐震化工事の進捗を図る様にすべきである。そのスケジュールを明確にするべきであるが、見解を!!

町長

地域防災計画における避難場所内で新耐震基準を満たしていない施設、特に、その中でも児童生徒の安全に配慮して、小中学校を優先的に考えています。そのため今後も引き続き、耐震化優先度調査の結果及び推進計画に基づいて詳細な調査を計画的に実施したいと考えています。

教育長

現在、内浦小学校の耐震化工事を行っております。耐震化の優先度ランクが高

い学校施設につきまして、優先度調査の実施について町長部局と協議してまいります。

竹内

防災計画の再見直しを!!

町長

ハザードマップを作成する

竹内

岡垣町地域防災計画の一層の整備・充実を図るべきであるが、見解を!!

町長

大規模災害が発生した時のために、役場水防倉庫、町民体育館備蓄倉庫を整備し、町立公民館と合わせて水防資



岡中も耐震化が望まれる

材や水・食糧を毎年度備蓄していますが、平成20年度に、避難場所での簡易トイレを購入するようにしています。

冠水箇所や急傾斜地など記載したハザードマップを平成21年度に作成します。又、災害時

住民の声

議会傍聴して

廣渡ミドリ さん(緑ヶ丘区)

の緊急情報伝達のために、音声で情報を伝達する同報系無線の設置も予定しています。今後安全安心の街づくりを目指して、防災に関するハード、ソフト両面での整備を行ってまいります。

町障害福祉計画」の見直しの視点について質問されました。

手話通訳派遣事業について、今までは県の補助事業として無料で行われており、現在でも芦屋・遠賀・水巻を含む全国殆どの自治体が無料なのに、なぜ岡垣だけが1割の利用者負担なのか。障害者福祉には相応しくない応益負担についてどう考えるか。国は各自治体の判断で行えといっているがどうするのか。との質問に対し町長は、福祉政策は町としていろいろやっている。国や県の政策と整合性を図り、様々な意見を聞きながら進めていくという答でした。

地方自治のあり方が問われます。

住みよい町づくりになるように私たちがもっと議会を傍聴して行きましょう。

2008年6月9日一般質問
1日目、数年ぶりに傍聴に出かけました。議会についての経過が10時過ぎだったので、1番目の発言者の「防災行政について」は終わりに近く、話の内容がよくわからず終い。
そのあと、30分間の休憩が告げられ、8割位埋まった傍聴席で「休憩時間がえらい長いね」という声が洩れていました。
2番目の発言者は「岡垣町障害者計画」及び国の自立支援法に基づいて策定された「岡垣

久保田

障害者計画と障害福祉計画を根本から見直しをしよう求める

町長 町の総合計画等や国・県の計画との整合性を図り策定する



久保田秀昭 議員

久保田 障害者施策は、障害があっても人間が人間らしく、

健常者と同じように日常の生活ができ、健康で文化的な生活ができる保障をする事が基本です。

町長は議会で障害者自立支援法を「地域で自立した生活ができるように支援をする法律です」と答弁した。しかし実態はそうではなかった。

障害者と家族等が声を上げていったことが、政治を動かしています。

国連では障害者権利条約が5月3日に発効しました。この条約は「障害のある全ての人に對して、全ての人に保障されている人権及び基本的自由の、完



全かつ平等な権利を促進し、保護及び確保すること、並びに障害のある人の固有の尊厳の尊重を促進する」事を目的とするものです。この条約の中で手話は言語として位置付けられました。

自立支援法の応益負担は障害者の社会参加と人権保障をうたう障害者権利条約の趣旨と相反します。応益負担の1割負担は廃止すべきです。

こういう情勢の変化を踏ま

え、障害者に対する二つの町の計画を障害者の立場から根本的な見直しを求めます。

又町長は応益負担をどの様に考えているか尋ねる。

町長 第4次総合計画などをはじめ岡垣町の他の計画、国や県の計画との整合性を図り計

画の策定を行います。基本的原則である応益負担は国の指針などを遵守しながら障害者政策を進めていきます。支援法以外の町独自の施策は、岡垣町ができる範囲内で軽減等を考慮しながら今後とも進めていきたい。

矢島

こども未来館の現況を問う

町長 施設の利用促進に向けた取り組みに努める



矢島 恵子 議員

矢島 岡垣町エンゼルプランの進捗状況について問う

町長 エンゼルプランの重点施策として、地域社会全体が将来を担う子ども達を健全に育てることができるような情報提供、交流の機会と活動や研修場所の提供、住民の自発的な活動に對しての支援などの、行政の担うべき役割を円滑

に推進するための拠点施設として、こども未来館を建設しました。

現在、こども未来館には児童センターと地域子育て支援センターの二つの機能を担い運営しています。

矢島 未来館建設にあたっては保護者の皆さんより屋外の安全な場所で子ども達を自由に遊ばせてやりたいとの多くの希望がありました。未だに屋外の環境整備が整っていません。子ども達の利用者数が増え

楽しく遊べる空間を、早急に整えて欲しいと要望します。**町長** 遊具の充実や築山についてもその機能が果たせるように整備に努めます。**矢島** 少子化による児童数は減少しても、学童保育を必要とする児童数は増加すると考えられています。現在NPO法人が協定に基づき学童保育所の管理運営に関する業務を行っています。安全で良質な保育が提供できるように一層の充実に向けて欲しい。**町長** 保育所の教育環境の改善など、担当課を含める両者で協議するように努めます。今後も地域の見守りや社会資源の活用により、安全・安心を第一に取り組んでいく必要があると考えています。



こども未来館 広場

横山

妊婦健康診査費用の公費負担を早急に5回へ！

町長 財政状況を勘案しながら対応していきたい



横山 貴子 議員

横山 今年度より3回が公費負担となり一歩拡充ではあるが、厚生労働省が最低必要としている5回には届いていない。高齢化社会が進む中、産み育てる環境をつくり少子化対策に取り組むことは発展を続ける経済社会にも大きく影響する。早急に5回、あるいはそれ以上に拡充すべきでは。

町長 妊婦健診は、安全安心な妊娠・出産と、母子の障害への防止のためにも必要と認識しています。今後も少子化対策、母子の健康確保を図るために、財政状況を勘案しながら対応していきたい。

横山 今の制度のあり方では、県外への里帰り健診は、公費負

担で健診を受けることができない。申請することで助成金を支払う、償還払い等の取り組みはできないか。

町長 今後は町が負担する方向で検討していきたい。

○町営住宅の保守管理は？

横山 町営住宅の居住環境を保つための保守管理はどのようになっているのか。

町長 入居者からの不具合等については、状況確認の上、必



早期改善を望む！

要に応じて改善・修理を行っています。

横山 龍王団地住宅の内壁に発生している、カビの件について、何らかの対策が必要ではと申し入れています。そのあとの進捗状況を伺います。

町長 現在龍王団地の内部調

西田

①外部監査の導入は？②HPの個人情報削除を！

町長 ①外部監査は導入しない ②個人情報には法に基づいて適正に取り扱っている



西田 陽子 議員

西田 今回の食糧費の住民監査請求で、監査委員の部分については却下されたが何故か。

町長 監査委員自らが関わったことについては監査できないという法律の規定によるものだ。

西田 監査委員だけでなく、事務局職員や町長、副町長も飲食を共にしており、身内が身

査に着手し、他の住宅も含めて行う予定です。概ね8月中旬までに調査を完了、そのあと改善策を整理し、実施計画に計上していく予定です。なお緊急性のあるものは現予算の範囲内で財源が確保できれば今年度より着手していきたい。

町長 外部監査を取り入れるべき。岡垣町より人口の少ない奈良の斑鳩町や津和野町にこの制度がある。また岡垣町は住民監査に関する条例が整備されていないのが問題だ。

町長 平成17年の行革推進委で検討し、導入する必要性は低いとされている。今後調査研究

はしたい。

西田 今回請求人の氏名住所がHPで公開され、マスコミにも大きく取り上げられた。が、町当局の見解は変わらない。また結果公表の前に個人情報情報漏洩し流出している。その結果二十数人が辞退しており、個人情報の保護がなされていないのが問題だ。

町長 一切漏洩はない。住民監査請求がきちんと処理されるように、書類不備の請求人に確認をした。また、関係機関に確認をした。

西田 最初から公表ありきで住民は圧力と感じている。法律は結果の公表は義務づけても住所氏名の公表までは義務づけてはいない。以前は他の自治体でも公表していたが、平成15年に個人情報保護法が成立して以来自粛している。必要以上の公表は住民の内心の自由を侵し、無用な混乱を起こす。即刻中止し削除すべきである。

町長 住民が法に定めた権利に基づく請求をされたので、行政として受けとめ公表した。この考えは変わらない。

宮内 ISO14001を独自で取り組み ないか

町長 今後、充分検討したい



宮内 實生 議員

宮内 行財政構造改革を進めるにあたり、ISO14001を自前で取り組む考えは。

町長 家庭や学校、事業者の模範となるべく、継続したい。

宮内 省エネ、省資源活動として取り組んでいるが、第三者審査機関に審査を依頼している。委託料はいくら支払っているか。

町長 年84万円、更新年度は140万円の予定。

宮内 外部審査機関への審査依頼をやめて、独自の審査を行う自治体が増えている。

独自で行う考えはないか。

町長 各家庭、各事業者にも地球環境を守る意識を持っていただくため、町の姿勢を示し

たい。独自の取り組みについては、今後充分検討したい。

宮内 特産品について、本格焼酎「岡垣」は、今年の販売額では約1500万円位になると思うが、将来的には3000万円を越える販売額を目標にできないか。

町長 本年度の状況をみて協議をしていきたい。

宮内 商工会が特産品として、高倉びわ茶を開発している。



杜氏より説明を受ける

この高倉びわ茶と岡垣の地下水を活用して、ペットボトル製品として開発できないか。

副町長 現段階ではコスト高になるため難しいと受けとめている。

宮内 高倉びわ茶の特産品と

平山 航空自衛隊機の町上空の飛行の中止・ 規制を求めよ

町長 国防・救難の飛行訓練であり、理 解を示すべき



平山 弘 議員

して、行政もPRに取り組むべきではないか。

町長 商工会も高倉びわ茶の認知度が高まるよう取り組まれると聞いており、町としても何らかの形でPR等には努めたい。

救難活動に関する任務であり、生活に及ぼす影響は最小限に配慮することとで、理解を示すべきだと思う。

平山 芦屋基地で過去2回墜落事故が発生し、周辺市町村では騒音被害も出ている。

騒音について水巻町のある学校長の報告書を紹介したい。

「ジェット機の轟音で学習活動が中断することはもはや日常化している。残念でならない。

騒音が児童に与える影響を科学的に調査していないが、児童の心身の健全な発達に好ましくないことは十分に考えられ



航空自衛隊機

る。今後、飛行回数の減少や低空飛行を避けるなどの措置が必要」と報告している。騒音で健康面の影響も出てくるが、どう思うか。

町長 国防上の問題であり救難訓練でもあるので、今後その問題については連絡を取りながら騒音対策など実態等について認識を深めていきたい。

平山 町民の安全と環境・健康のために、町内上空での飛行の中止もしくは規制を強く求めるべきではないか。

町長 国防・救難という課題の中での飛行訓練であり、十分に事前通知等が岡垣町に入るように手立てはしていきたい。

岡垣が1番!

岡垣特産品紹介コーナー (その1)



本格焼酎岡垣 高倉びわ茶

本格焼酎「岡垣」

岡垣で生まれ育った芋と天然地下水が、鹿児島酒造黒瀬杜氏匠の技で、絶妙な焼酎に仕上がった。

これこそ「岡垣」 (町内20店舗で販売)

高倉びわ茶

農薬・化学肥料を一切使わない「高倉びわ」の葉を原料にした健康茶でカルシウムも豊富。

一袋を数分間沸騰させると鮮やかな紅茶色に。冷たくしても飲みやすい。 (商工会やスーパーで販売)



岡垣クーヘン

カメさんクッキー

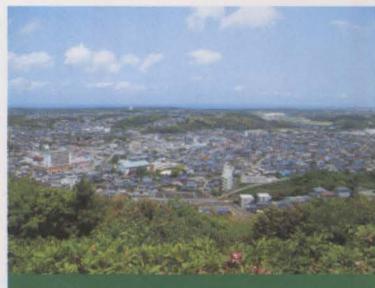
三里松原饅頭

(上から順に)

どうぞ
傍聴席へ

次の定例会は

9月5日 開会の予定



金比羅山からの眺望

表紙の紹介

岡垣クーヘン

岡垣生まれのオリジナルなお菓子ということで岡垣クーヘンが誕生。クリームいっぱいのでふわふわ感がオシャレ。

カメさんクッキー

10数年前、小学生の願いを受けて誕生したクッキー。「海がめもかえるまち」岡垣にピッタリなお菓子。

(どちらもハイデルベルグ)

三里松原饅頭

三里松原をモチーフに、白あん・干ブドウやニックなどで風味よく仕立てられた饅頭。

40数年前からご夫妻の手作り。 (あけぼのや)

編集後記

竹内 和男

岩手・宮城内陸地震が起きた。地震の規模はマグニチュード7.2。阪神淡路大震災と同規模である。中山間地を襲った大規模地震で、道路や河川が消失するなど山そのものが無くなる山体崩壊が見られた。「驚天動地」の言葉そのものの世界である。しかし、阪神淡路大震災では、山手の台地は比較的被害が少なかったが、低地の被害が大きかった。

その反対で、今回の地震が目されているのは、山間部の被害の甚大さである。

道路や橋梁の消失や破壊が大きい。今後も、海洋型巨大地震や都市直下型地震が想定されている。わが岡垣町も例外ではない。

発行責任者

議長 長 太田 強

議会広報特別委員会

委員長 三角 善彦

副委員長 横山 貴子

委員 石井 要祐

委員 西田 陽子

委員 平山 弘

委員 竹内 和男